

今日必要な専門家として必要な知識 ～建築士として生き抜くために～

第2回「わかりにくい防耐火基準を見直す+おまけの塀と擁壁」

今回より本編が始まります。「けんちくラーニングのすすめ」では確認検査機関より講師をお呼びして確認申請に係る内容をお話しました。「けんちくラーニングモア」は、建築時の業務≠確認申請ではないという事に重点を置き建築士として走り始めた皆様が本来知っていかなくてはならない内容を取り上げていきます。

今回は身近な部分として防耐火基準の判断の仕方に注目します。

小規模建築物（木造建築物）では防火構造、準耐火建築物、耐火建築物の選択が必須となってきます。近年法改正が繰り返され非住宅への木造建築物採用が増えどのようにすればいいのか？を求められるケースが増えていきます。防耐火基準の基本に立ち返って皆さんと一緒に勉強をしたいと思えます。知ってしまえばそんなに怖くない法規ばかりです。

ただ・・・詳しく知らないで進めてしまうと申請の段階や実施図面の段階、最悪は施工の段階にて大幅な設計変更をしなくてはならないなど実務上での問題を引き起こしてしまうことも・・・

では、どうするべきなのか？を学んでいきましょう！

防耐火基準は構造や省エネのようにサポートしてくれる会社がないこともあり各人が自分で答えを出さなくてはなりません。

法令集をひいても多岐に渡る基準の為理解がしにくいこともあります。参考になるか？は受け取る方次第ではありますが講師が日常業務で調べて答えを導いている書籍や資料を交えながらお話をさせていただきます。

知っていることは復習として、知らなかったことに対しては聞いたその日に改める。そんな日々の研鑽をしていくことが大切です。

建築士会という場を活用して実践していきましょう！

今回の講座では、おまけとして最近話題になってしまっている「塀」のことやまだ触れられていない「擁壁」についてもほんの少しですが触れておこうと思います。建物や築造物の安全性能を確保するためには何が必要なのか？をお伝えします。

このほかにも時間の許す限りお話をさせていただく予定です。



(アクセス)
みなとみらい線日本大通駅、JR京浜東北線関内駅、横浜地下鉄関内駅(1番出口)、横浜地下鉄伊勢崎長者町駅(2番出口)より いずれも徒歩4～5分

申込・問い合わせアドレスのQRコードです。



けんちくラーニング・モア

あなたは30年後、生き残れますか？

この国の建築はどこへ向かいだどり着くのか・・・

そして今我々は何をすべきなのか・・・

2020年に迫る大変革を乗り切る為に共に考えましょう・・・

遡ること30年、住宅の業界は規制緩和により

工業化、輸入自由化、量産化により個性を失った・・・

思考を続けるためのモア・我々の為のモア

持ち寄り、持ち帰る活動を拡大しましょう！

第2回「わかりにくい防耐火基準を見直す + おまけの塀と擁壁」

主催：神奈川県建築士会（開催担当：神奈川県建築士会青年委員会）

講師：神奈川県建築士会青年委員会副委員長 株式会社悟工房代表取締役 山中信悟

会場：平沼記念レストハウス第3会議室

日時：9月26日（水）19:00～21:00

※どなたでも参加できます。これから建築士になられる方の参加も歓迎します。

費用：H29年建築士試験合格者無料・建築士会員1000円・非会員2000円

申込方法：タイトルは「9月講師例会申込」、

本文にはお名前、連絡先、会員の方は会員番号、H29年合格者はその旨を記載して、

seinen@kanagawa-kentikusikai.com にメールでお申し込み下さい。